

# 宮崎県総合農業試験場技術研修生取扱要領

令和7年5月2日

宮崎県総合農業試験場

## 宮崎県総合農業試験場技術研修生取扱要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、宮崎県総合農業試験場（以下「総合農試」という。）における技術研修生（以下「研修生」という。）の受け入れ等について、必要な事項を定めるものとする。

### (研修部門、人員、場所、方法及び研修期間)

第2条 研修部門及び人員は、その都度場長が決定する。

2 研修は、総合農試において、実務を通して行う。

3 研修の期間は、1年以内とする。ただし、場長が特に必用があると認めた時はこの限りではない。

### (研修生の資格)

第3条 研修生の資格は、現在又は将来の農業後継者、農業就業者又は農業関連技術者（市町村、農業団体又は教育機関等の職員）であって、次の各号に該当する者とする。

(1) 県内在住で心身ともに健全であること。

(2) 農業の発展に熱意を有すると認められること。

(3) 高等学校卒業程度以上の学力を有すると認められること。

(4) その他、特に必要と認める者。

### (入場手続)

第4条 研修生として入場しようとする者は、入場願書（様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、場長に提出しなければならない。

(1) 研修希望内容書（様式第2号）

(2) 履歴書（写真貼付）

(3) 保健所又は医師が発行する健康診断書

2 農業後継者又は農業就業者にあつては、市町村長が発行する推薦書（様式第3号）を添付しなければならない。

3 農業関連技術者（市町村、農業団体及び教育機関等の職員）にあつては、所属長が発行する委託書（様式第4号）を添付しなければならない。

### (入場決定)

第5条 場長は、前条の規定により入場願書を受理したときは、入場資格の有無等を審査したうえ、選考試験を実施して入場の許可を決定する。

なお、農業関連技術者（市町村、農業団体又は教育機関等の職員）にあつては、選考試験を免除する。

2 場長は、前項の規定により入場を決定したときは、本人に入場の許可及び配置部門を通知する。

3 前項の場合において、農業関連技術者（市町村、農業団体又は教育機関等の職員）にあつては、所属長にも同様に通知する。

### (誓約書の提出)

第6条 研修生として入場を許可された者は、県内に居住する成年者で独立の生計を営む者を保証人と定め、保証人が連署した誓約書（様式第5号）を場長に提出しなければな

らない。

2 研修生は、保証人が死亡し、又は保証人としての適格を失ったときは、新たに保証人を定め、すみやかに誓約書を更新しなければならない。

3 研修生は、保証人がその住所又は氏名を変更したときは、すみやかに場長に届け出なければならない。

(遵守事項)

第7条 研修生は、研修期間中、総合農試の服務規律等に従うとともに、研修中においては、常に研修指導者の指示に従わなければならない。

2 前項のほか、研修生は、研修期間中及び研修終了後において、研修により知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(費用等)

第8条 研修に要する費用は、研修生の負担とする。

(傷害保険の加入)

第9条 研修生は、入場が決定した場合、自己の負担において入場前に傷害保険に加入しなければならない。

(退場命令)

第10条 場長は、研修生が成業の見込みがないと認めた場合、又は研修生として不適当と認めた場合は、退場を命ずることができる。

(損害賠償)

第11条 場長は、研修生が故意又は過失により試験場の施設、機械器具等をき損又は亡失したときは、その相当額を賠償させることがある。

(修了証書)

第12条 場長は、研修生が研修を終了したときは、修了証書（様式第6号）を授与する。

(雑則)

第13条 この要領に定めるもののほか、研修生の取扱いに関し必要な事項は、その都度、場長が決定する。

## 附 則

1 この要領は、昭和62年4月1日から施行する。

2 受託研修生取扱い内規（昭和48年度から適用）は、廃止する。

3 この要領の適用の際、現に研修生として入場している者は、この要領の規定により入場した研修生とみなす。

4 この要領は、平成19年6月18日から施行する。

5 この要領は、平成20年9月9日から施行する。

6 この要領は、平成24年4月2日から施行する。

7 この要領は、平成24年9月27日から施行する。

8 この要領は、令和7年5月2日から施行する。

入 場 願 書

このたび、貴場技術研修生として入場したいので、関係書類を添えて申請します。

専 攻 部 門

第 1 希 望

第 2 希 望

期 間

年 月 日から  
年 月 日まで

年 月 日

本 籍 県（県名だけ）

現住所

(ふりがな)

氏 名 印

生年月日 年 月 日生（ ）歳

宮崎県総合農業試験場長 殿

様式第 2 号

## 研修希望内容書

1 希望する作目  
(例) 果樹 (温州ミカン)

\_\_\_\_\_

## 2 農業経験

|   |         |   |        |   |         |   |    |
|---|---------|---|--------|---|---------|---|----|
| 1 | 未経験     | 2 | 家庭菜園程度 | 3 | 自家農業手伝い | 4 | 農業 |
| 5 | その他 ( ) |   |        |   |         |   |    |

### 3 研修で学びたいこと

(以下、農業関連技術者（市町村、農業団体及び教育機関等の職員）は記載不要)

## 4 家族構成

| 氏名 | 続柄 | 年齢 | 特記事項    |
|----|----|----|---------|
|    |    |    | ※職業等を記載 |
|    |    |    |         |
|    |    |    |         |
|    |    |    |         |
|    |    |    |         |

## 5 耕地面積（借地も含む）

水田            a、    畑            a

6 営農方式

水稻 a (受委託など)

施設野菜 a ・ 露地野菜 a ・ 花き a ・ 果樹 a

7 雇用状況

雇用：週 日 人、 毎日 人

8 新規就農者育成総合対策（就農準備資金）について

新規就農者育成総合対策（就農準備資金）を利用する予定があるか、分かる範囲で記入してください。

|  |
|--|
|  |
|--|

9 研修期間中の住居について

|      |              |   |
|------|--------------|---|
| 1 自宅 | 2 自宅以外（具体的に： | ） |
|------|--------------|---|

様式第3号

推 薦 書

年 月 日

宮崎県総合農業試験場長 殿

機関名           〇〇市町村  
所属長名  
担当者氏名

下記の者は、宮崎県総合農業試験場の技術研修生として入場を希望していますので、以下の理由をもって推薦します。

入場希望者氏名 (生年月日)

推薦理由：

- (注) 1 推薦に当たっては、宮崎県総合農業試験場技術研修生取扱要領に基づき、人物や地域農業への寄与等について留意してください。  
2 推薦書は封筒に入れて封印してください。

委 託 書

本 籍 県（県名だけ）

現住所

氏 名

生年月日 年 月 日生（ ）歳

上記の者は技術研修生として適格であると認めますので、  
研修を委託します。

年 月 日

所在地

所属名

役職名

氏 名

印

宮崎県総合農業試験場長 殿

誓 約 書

このたび、技術研修生として入場を許可されましたうえは、諸規定及び命令等を堅く守り、研修に専念することを誓約します。

年 月 日

研修生 印

上の者に関する一切のことは、私が引き受け、充分監督のうえ、諸規定及び命令等を堅く守らせることを保証します。

本 籍 県（県名だけ）

現 住 所

職 業

本人との関係

保 証 人 印

年 月 日生（ ）歳

宮崎県総合農業試験場長 殿

# 修了証書

氏名 ○○ ○○

生年月日 年 月 日生

あなたは、技術研修生の課程を修了されました。  
よって、これを証します。

研修期間 年 月 日から  
年 月 日まで

年 月 日

宮崎県総合農業試験場  
場長 ○○ ○○